

豊庄だより



第706号 2022年4月25日

今年度初めての誕生会を行いました（4月20日）。誕生者は11人でしたが、コロナウィルス感染対策のため、9:30から10:00までを第1部（ばら、ゆり、ひまわり組）、換気・消毒・入れ替えの時間を挟み、10:10から10:25までを第2部（もも、さくら、すみれ組）に分けて行いました。

福岡市早良区南庄2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



こどものまつり・4月誕生会

4月誕生会は、「こどものまつり」も兼ねて行うことにしており、ステージには子どもたちが制作した「こいのぼり」が壁面いっぱい飾られていました。その前で誕生者一人ひとりのお祝いをしました。2部に分けてするため、各クラスの歌のプレゼントが全体で聞けないのは残念ですが、密を避けて感染防止を図るためにはやむを得ません。こうした取り組みの縮小は、現在の状況においては仕方ないのかもしれませんが、これまで行ってきた誕生会後の「懇談会」はできる範囲でやらなければならないと思い、第2部終了後、もも、さくら、すみれ組の保護者に限定して行うことにしました。本来なら、0歳から5歳までの保護者全員が集まり、日ごろ悩んでいることや考えていることを話していただきたいと思っていますが・・・早く感染の心配がなくなる時が来ることを祈っています。

懇談の時間を25分間としたため、事前に誕生者の保護者のみなさんに、日ごろ、お子さんのことで困っていること、悩んでいることなどを書いていただき、会を進めました。

▼お兄ちゃん（小1）とおもちゃの取り合いをよくします。つい、話ができるお兄ちゃんにガマンしてもらうことが多くなってしまいますが、どう下の子にもガマンさせたらいいか、わからなくなります。下のほうが圧倒的に強いです。（さくら組）▼ドライヤーを嫌がる。兄妹で観たいテレビが違う。まだ順番とかわからない。（さくら組）▼困っている・悩んでいるというほどではないのですが・・・、1週間ほど前から登園して親（母）と離れる時にシクシク泣くようになり、そのことが今一番の気がかりです。家でも、「保育園はもうやめた！」などと言います。（すみれ組）

▼すぐ別のことに気が散ってしまう。なかなか朝の準備が進みません。（ばら組）

▼降園してから、ずっとバタバタして、なかなか子どもと遊ぶ時間がない。土、日も仕事の日が多い。夜、早く寝かしつけたいが、気づいたらいつも遅い時間になってしまう。（ゆり組）

▼特に夕食の準備をする時に、一番上の子が「お菓子早く〜!」、二番目が「うんち〜!」、三番目が抱っこ魔で、置くと泣く・・・など、3人の要望が一度に集中すると、ああ〜もう! っとなってしまいます。もう一人、自分の分身がいたらいいのですが・・・。（ひまわり組）



4月誕生会 懇談会

4人の参加でしたが、進級して新しい環境へとまどっていることや、きょうだい関係などについて、話し合いました。みなさんにも同じようなことがあるのではないのでしょうか。語り合う場は大切です。

4人の参加でしたが、進級して新しい環境へとまどっていることや、きょうだい関係などについて、話し合いました。みなさんにも同じようなことがあるのではないのでしょうか。語り合う場は大切です。